

## 海外事情 10月15日号

- クルーズ片道予約 OTA 出現
- 新トリップアドバイザー開始
- 中国ミレニアル、旅行消費8割増
- 生体認証で購買行動把握
- グーグルがチケット販売強化

以上は、トラベルジャーナル 10月15日号をご覧ください。

### ➤ グーグル、ホテル検索強化

グーグルが Google Hotel Ads に、新たな Room Booking Module (RBM) を追加した。RMB は、価格情報に加えて異なる客室ごとの写真を掲載することができる。現在は北米市場における限定的展開であるが、漸次、グローバルに展開する計画だ。RMB 機能を使ったキャンペーンは、モバイル表示で Google Map 検索を除いて PC には表示されない。広告主は、既存の Standard と同一条件で RMB を使うことができるが、RMB には特別マルチプライヤー入札が用意されているので、広告掲載ポジションに対するより効率的ビッドを可能にしてくれる。

しかし、この RMB は“Book on Google”のインスタント予約機能と直結するので、Book on Google を使用しない OTA は RMB には表示されない。事実

Booking.com は完全に出てこない。

RMB には、イメージ（写真）を通してコンバージョンを上げることが期待されている。Google が益々ホテル予約の領域に進出している。(PhocusWire 9/19

<https://bit.ly/2P4o2IJ>)

### ➤ ブッキング、新興市場国で無料データ提供

Booking.com が、新興市場国のユーザーに無料のインターネットアクセスを提供するブロックチェーン技術を使った新たなデータ・マーケットプレイスである「新 ODX (Open Data Exchange)」を試みる契約に署名した。世界のインターネット利用者の 80%は東南アジア、アフリカ、ラテンアメリカの新興市場国に居住している。そしてそれらの諸国の 90%以上の人たちが、モバイルデータのアクセスの法外に高額な料金と公衆 Wi-Fi 施設が極めて乏しいために、月間 6 日以下しかインターネットを利用できないでいる。これは、彼らのために無料インターネットを提供し、オンライン販売を拡大しようとする試みだ。ODX は、トラベル、食事、エンターテイメント、小売、家庭用品などの幅広い業種の 50 社と提携している。旅行の分野では、Booking.com に加え Red Planet Hotels, Zen

Rooms, Artemis Place Makati (以上アジアのホテル)、Hirna (タクシー配車アプリ)、Biyaheroes (バス予約) などが参加している。ODX は、昨年末から MakeFree と名付けたコンセプトを数社の e コマース企業と試験してきた。ユーザーのインターネットアクセス費用は MakeFree が支払った。試験の結果は抜群だった。顧客獲得コストは 4 ドルから 1 ドル以下に減少、各種アプリと Web サイト滞在時間は倍増以上、100 ギガバイト以上を無料で提供して 18,000 ドル以上に相当するトランザクションを得ることができた。

ODX は、プラットフォームの規模拡大のためにブロックチェーンの利用を計画している。この技術を使って、プラットフォームの運営とここへの参加承認と不承認の権限を ODX からブロックチェーンの分散化したシステムに委ねることを考えている。6,000 万ドルのプライベート・トークンを販売して、この計画を実行するための資金を調達する。(PhocusWire 9/20 <https://bit.ly/2P5pvy6>)

#### ➤ Kayak、手荷物測定ツール開発

Kayak が、機内持ち込み手荷物の大きさを測定するツールを開発した。このツールは、スマートフォンのカメラと AR (Augmented Reality) を使って、瞬時に航

空便の機内持ち込み手荷物の大きさを計測することができる。このツールは、全ての航空会社の手荷物ポリシーまで表示する。現在、Kayak の iOS アプリの最新バージョンで使うことができる。(PhocusWire 9/21 <https://bit.ly/2xTnzCC>)

### ➤ Kiwi.com 空港と接続

Kiwi.com のバーチャル・インターライニングが航空の旅客流動を劇的に破壊する潜在力を有している。旅客接続を改善することができる恩恵を受けている LCC と同じくらい大きなものとなる可能性がある。Kiwi.com は、B2C から空港と航空会社のための B2B サービスへ、同社のビジネスモデルを拡大させている。この B2B のバーチャル・インターライニングは、航空会社間のインターライニング契約やコードシェア協定なしに、サブ空港における長距離便の容易な旅客接続を支援して空港の競争力を向上させる。Kiwi.com の Stansted 空港との新たな提携は、旅客がターミナルを離れることなく、受託手荷物を再チェックインすることなく、LCC と FSC 間の 2 つの航空券のシームレスな接続を可能にする。その上ミスコネクションが発生した場合の代替便確保などの支援まで行う。そのため 1,500 人のエージェントによる 24/7 の顧客サービスを提供する。バーチ

ャル・インターライニングによって、空港が単なるインフラストラクチャーを超えて、旅行会社と旅行サービスプロバイダーになることができる。

このシステムは世界に適用することができるが、欧州での展開が進んでいる。民営の空港が多いことと、LCCが多いことと、競争が激しいことがその理由。アジア、特に中国は巨大な市場となる。米国は空港が公営であることと FSC によって占有されているので厄介だ。

B2C サービスについては、Kiwi は世界で接続を提供し主として付帯サービスから収入を得ている。保険、銀行、ホテルと航空便のより多くのサービスから多くの収入を得ている。250 の LCC と 700 の FSC の接続を提供し、他のどこでも探せない 80% さえも安い運賃を提供する。Kiwi のホワイトレーベルのプロダクトも航空会社から好評だ。(Tnooz 9/24 <https://bit.ly/2zNRLAp>)

#### ➤ ホテル、ホームシェアリング受け入れ

ホテルがホームシェアリングを受け入れている。Marriott International が 4 月に発表した Hostmaker パートナーシップがその好例だ。これは、Hotel Tribute ブランドの下でホームレンタルの施設を導入した試験的プログラム。ホームシ

エアリング側は、ホームを適切に監督し、毎月ホームの面倒を見てくれて、そしてゲストのエクスペリエンスの世話をしてくれる誰か探しているのです、そこにホテルの専門家の出番があると Marriott は言っている。決してホームシェアリングがホテルと敵対関係にあるわけではなく、ホテルに脅威を与えているわけでも無いと言うのだ。ゲストの滞在もホームは5~6日に対してホテルは短期滞在が多い。Marriott のホームレンタルのゲストの80%は、同社の報奨制度のクラブ会員だ。

Hostmaker の COO は以下の通り発言している。

宿泊客に Netflix の使用を制限したり、Deliveroo の出前を禁止したりすることをやめるべきだ。そして流通チャネルについては直販に拘る必要もない。

Marriott の場合は、50以上のチャネルを使用して、最適なチャネルで最もふさわしいプロダクトを販売する。Expedia や Booking.com に対応しようとは思わない。Airbnb が彼らと競争するのはクレイジーだ。

直販については異なった意見も存在する。ホテル直販を支援するスペシャリストの Tripease は、OTA 経由販売は貴重な顧客データを手渡してしまうこととなり間違いだと言っている。(PhocusWire 9/25 <https://bit.ly/2xVrPRV>)

## ➤ インド OYO が 8 億ドル調達

南東アジア最大のホスピタリティー企業の OYO（インド）が、ソフトバンクのビジョンファンドなどから 8 億ドルの資金を調達した。その他の既存投資家である Lightspeed Venture Partners, Sequoia, Greenoaks Capital もこの信金調達ラウンドに参加した。投資家たちは、2 億ドル追加して 10 億ドル投資にコミットしていると言われている。OYO は、インド・中国・マレーシアに OYO Home, OYO Townhouse, Pallete Resorts を展開、最近英国への進出を発表したばかりである。調達した資金は、中国や英国への展開拡大とテクノロジーへの投資に使われる。(PhocusWire 9/26 <https://bit.ly/2IsElw5>)

## ➤ ブロックチェーンで T&A の流通と決済改善

Travelport と IBM が、プライベート・ブロックチェーンを利用してタビナカの T&A (Tours and Activities) の流通と決済の効率とスピードと安全性を改善することを計画している。小規模の独立サプライヤーが多く存在するロングテールのタビナカプロダクトの販売には、伝統的流通チャンネルは向いていない。大手

プラットフォームにこのプロダクトを掲載するには大きな労力とコストがかかるのだ。そこでブロックチェーンを応用した異なる新たな流通方式の開発が必要になる。このシステムを使えば、旅行者にとっても、信頼おける小規模な地元  
のサプライヤーを容易に探し出すことができる。TripAdvisor の数百のレビュー  
を見ることもなく、フェイクレビューの存在を心配する必要もなくなる。

Travelport と IBM は、プライベート・ブロックチェーンの分散台帳 (Distributed Ledger) モデルが応用できないかを追求してきた。そして販売手数料の自動決済のためのスマートコントラクトの開発に取り組んでいる。

今後 6 ヶ月以内に、クルーズの港あるいは観光目的地の大手ホテルで、最低限の機能を有したブロックチェーン技術を使ったプロダクトを立ち上げる予定だ。

(PhocusWire 9/26 <https://bit.ly/2xIAffb>)

+++++      +++++      +++++